



バードウィーク（愛鳥週間）を前に

長野県小谷村、梅池の林の中の友人宅に招かれた。標高は九百m。大山桜がようやく開花したが、まだ春は浅い。近くでホーホケキヨと鶯が鳴くと、少し離れた所で、ホーホケキヨ。互いに縄張りを主張。

小鳥の巣箱架け

昨年秋に彼と協働して杉板で巣箱を作った。あった。その巣箱を、五月十～十六日の愛鳥週間に前に、白樺にかけた。



白樺の丸太からも

倒れた白樺がチエー



ンソーで切断、保管されていた。それを使って、一面を切断。内部をえぐって、巣箱とした。初めてのチエーンソー。「動力があるから楽」と思っていたが、保持するのに力が必要。心地よい汗をかいた。

愛鳥週間の頃に、何が入るか？（しりとりから）四十雀？赤ゲラ？楽しみだ。

職美展

上野の東京都美術館で5月12～20日（19は休み）に職美展が開かれます。日曜ジジ通信の原画、かながわ点描の原画及び絵本「だつてネコだもん」を出品します。

姫川源流

長野県白馬村神城

二〇一四年四月



親海おやみ湿原の橋の上に立った。北に向けて姫川が流れて行く。梅花藻ばいめいが漂うさまが良く見える。国土交通省発表一級河川の水質ランキングで、二〇一〇年、他の十二の河川と並んで日本一。

四月末、親海湿原のあちこちに福寿草ふくじゅそう。盛りは過ぎていたようだが、まだまだ。流れに沿って水芭蕉の花も見られる。

二輪草にりんそう、菊咲一華等を見ながら歩いて行くと、湿原周辺の斜面には片栗かたくりや日本菫にほんすみれ。

街の花壇には三色スミレの大きな花が沢山あって、ちよつと食傷気味。それ比べて、遙かに小さい、可憐な日本菫の薄紫の花には心惹かれる。

山の斜面に狸々袴しろうじょうばかま。昨年、安達太良山麓で見つけてスケッチしてやつと覚えた。